

令和 7 年 10 月 20 日

交 通 事 故 概 況

令和 7 年 9 月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（9月末計上数（確定数））

1 令和7年9月末の交通事故発生状況

区分\内容	9 月中		9 月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	717	20	5,935	-396
死者数（人）	17	4	90	9
傷者数（人）	845	-4	6,895	-607

[過去10年、9月中9月末の推移]

区分\年別	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	過 去 平 均		R7年
											10か年	5か年	
9月中死者数	17	15	17	12	19	19	5	16	9	13	14	12	17
9月末死者数	132	103	106	104	104	104	83	83	89	81	99	88	90
年間死者数	177	158	148	141	152	144	120	115	131	104	139	123	

都道府県別（9月中）

順位	1	2	4
都道府県名	北海道	東京 千葉	神奈川 兵庫
死者数	17	14	12

都道府県別（9月末）

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	東京	神奈川	北海道	千葉	大阪
死者数	99	95	90	87	86

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 9月中の死亡事故（死者17人）

- 事故類型別：車両単独が5人(29.4%)、自転車対車が4人(23.5%)
- 道路別：道道が8人(47.1%)、国道が7人(41.2%)
- 地形・道路形状別：非市街地交差点が6人(35.3%)、市街地交差点が5人(29.4%)
- 発生時間別：8～10時が5人(29.4%)、12～14時、14～16時が各々2人(11.8%)
- 第一当事者年齢別(第一当事者原付以上)：50歳代運転手による死者が6人(35.3%)、高齢運転者による死者が4人(23.5%)
- 第一当事者違反別(第一当事者原付以上)：前方不注意が4人(23.5%)、一時不停止が3人(17.6%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が7人(41.2%)、50歳代、60～64歳の死者が各々3人(17.6%)

(2) 9月末の死亡事故（死者90人）

- 事故類型別：
 - ・ 車両単独が35人38.9%（うち操作不適が17人48.6%、前方不注意が13人37.1%）
 - ・ 人対車両が19人21.1%（うち前方不注意が8人42.1%、歩行者妨害が5人26.3%）
 - ・ 正面衝突が15人16.7%（うち前方不注意が6人40.0%、操作不適が5人33.3%）
- 道路別：
 - ・ 国道が37人41.1%（うち車両単独が13人35.1%、正面衝突が10人27.0%）
 - ・ 道道が22人24.4%（うち車両単独が8人36.4%、人対車両、自転車対車が各々4人18.2%）
 - ・ 市町村道が21人23.3%（うち人対車両が8人38.1%、車両単独が5人23.8%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 市街地交差点が23人25.6%（うち人対車両が9人39.1%、出会い頭が4人17.4%）
 - ・ 非市街地直線が22人24.4%（うち車両単独が12人54.5%、正面衝突が7人31.8%）
- 発生時間別：
 - ・ 8～10時が14人15.6%（うち出会い頭が5人35.7%、正面衝突が4人28.6%）
 - ・ 16～18時が12人13.3%（うち車両単独が4人33.3%、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々2人16.7%）
- 第一当事者年齢別(第一当事者原付以上)：
 - ・ 高齢運転者による死者が33人36.7%（うち車両単独18人54.5%、正面衝突が6人18.2%）
 - ・ 50歳代運転者による死者が18人20.0%（うち車両単独が5人27.8%、出会い頭が4人22.2%）
- 第一当事者違反別(第一当事者原付以上)：
 - ・ 前方不注意が29人32.2%（うち車両単独が13人44.8%、人対車両が8人27.6%）
 - ・ 操作不適が23人25.6%（車両単独が17人73.9%、正面衝突が5人21.7%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が48人53.3%（うち車両単独が19人39.6%、人対車両が13人27.1%）
 - ・ 50歳代の死者が14人15.6%（うち車両単独が5人35.7%、正面衝突が4人28.6%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者46人中、シートベルト非着用者は22人(47.8%)であり、そのうち15人(68.2%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

9月中の死者数は札幌方面が11人(64.7%)、釧路方面が3人(17.6%)、旭川方面が2人(11.8%)、函館方面が1人(5.9%)となっている。

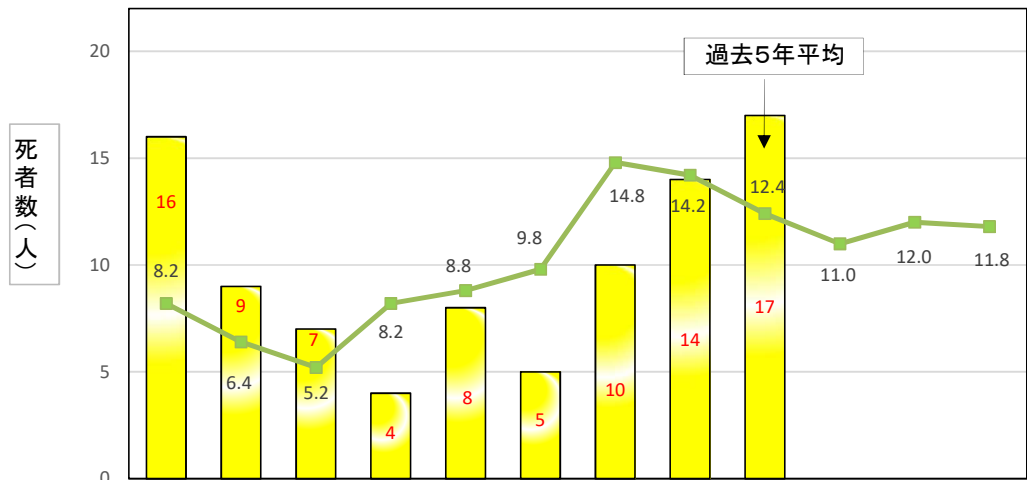
9月末の死者数は札幌方面が43人(47.8%)、釧路方面が21人(23.3%)、北見方面が12人(13.3%)、旭川方面が9人(10.0%)、函館方面が5人(5.6%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
9月中	全道	717	20	17	4	845	-4
	札幌方面	519	24	11	3	604	8
	函館方面	67	23	1		88	22
	旭川方面	45	-26	2	1	50	-33
	釧路方面	66	-4	3		77	-5
	北見方面	20	3			26	4
方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
9月末	全道	5,935	-396	90	9	6,895	-607
	札幌方面	4,318	-368	43	1	5,011	-576
	函館方面	430	37	5	1	528	52
	旭川方面	525	-6	9	-2	606	-20
	釧路方面	496	-73	21	4	561	-70
	北見方面	166	14	12	5	189	7

(4) 月別発生状況の推移

9月中の死者数は17人で過去5年平均12.4人を上回っている。

9月末の死者数は90人で過去5年平均88.0人を上回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	16	9	7	4	8	5	10	14	17				90
年間累計	16	25	32	36	44	49	59	73	90				
過去5年平均	8.2	6.4	5.2	8.2	8.8	9.8	14.8	14.2	12.4	11.0	12.0	11.8	122.8
累計平均	8.2	14.6	19.8	28.0	36.8	46.6	61.4	75.6	88.0	99.0	111.0	122.8	

(5) 都道府県別死者数

9月中は北海道が17人で最も多く、次いで東京都、千葉県が各々14人、神奈川県、兵庫県が各々12人となっている。

9月末は東京都が99人で最も多く、次いで神奈川県が95人、北海道が90人で3位となっている。

区分\都道府県	北海道	東京	千葉	神奈川	兵庫	大阪	福岡	愛知	広島	埼玉	全国
9月中死者数	17	14	14	12	12	10	10	9	9	8	229
ワースト順位	1	2	2	4	4	6	6	8	8	10	—
前年比	4	0	6	-1	8	-1	1	-1	6	1	8
増減率(%)	30.8	0.0	75.0	-7.7	200.0	-9.1	11.1	-10.0	200.0	14.3	3.6

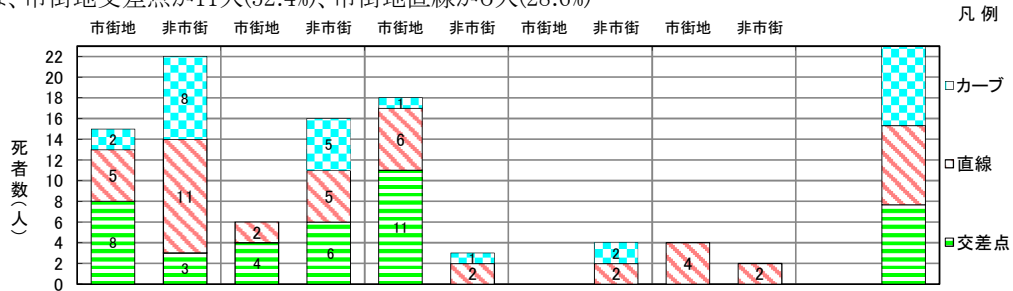
区分\都道府県	東京	神奈川	北海道	千葉	大阪	愛知	埼玉	兵庫	福岡	茨城	全国
9月末死者数	99	95	90	87	86	78	76	72	60	54	1,778
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—
前年比	-4	17	9	-11	-2	-23	1	-2	-10	-11	-98
増減率(%)	-3.9	21.8	11.1	-11.2	-2.3	-22.8	1.3	-2.7	-14.3	-16.9	-5.2

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が37人(41.1%)、道道が22人(24.4%)、市町村道が21人(23.3%)。

- ・ 国道は、非市街地直線が11人(29.7%)、市街地交差点、非市街地カーブが各々8人(21.6%)
- ・ 道道は、非市街地交差点が6人(27.3%)、非市街地直線、非市街地カーブが各々5人(22.7%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が11人(52.4%)、市街地直線が6人(28.6%)

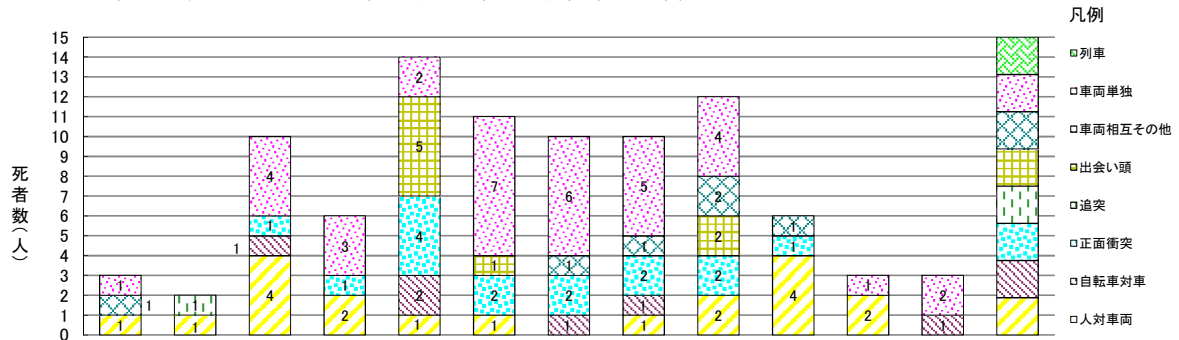


区分\道路別	国 道	道 道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死 者 数	37	22	21	4	6	90
構 成 率 (%)	41.1	24.4	23.3	4.4	6.7	100.0
過去5年構成率	40.0	23.4	28.4	2.3	5.9	100.0

(2) 時間別

8～10時が14人(15.6%)、16～18時が12人(13.3%)となっている。

- ・ 8～10時は、出会い頭が5人(35.7%)、正面衝突が4人(28.6%)
- ・ 16～18時は、車両単独が4人(33.3%)、人対車両、正面衝突、出合頭が各々2人(16.7%)

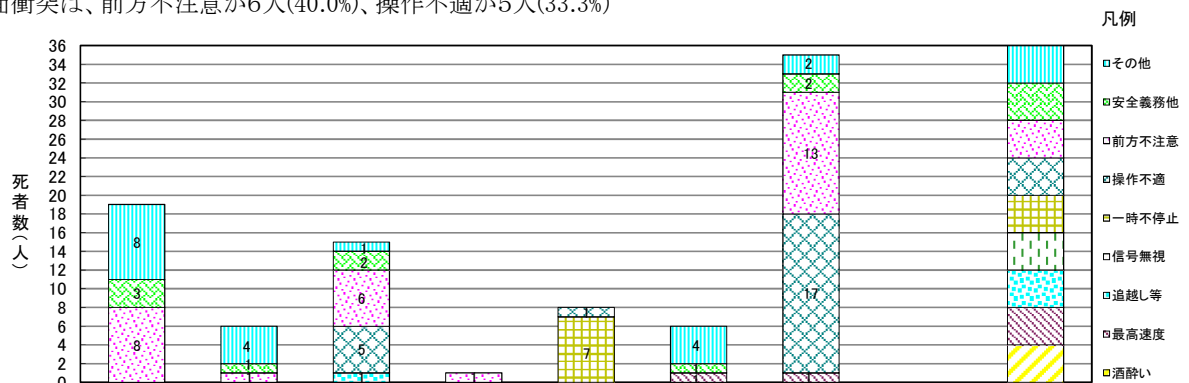


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死 者 数	3	2	10	6	14	11	10	10	12	6	3	3	90
構 成 率 (%)	3.3	2.2	11.1	6.7	15.6	12.2	11.1	11.1	13.3	6.7	3.3	3.3	100.0
過去5年構成率	3.9	2.7	4.5	8.0	10.5	15.0	13.9	13.9	7.5	8.9	6.4	5.0	100.0

(3) 事故類型別

車両単独が35人(38.9%)、人対車両が19人(21.1%)、正面衝突が15人(16.7%)となっている。

- ・ 車両単独は、操作不適が17人(48.6%)、前方不注意が13人(37.1%)
- ・ 人対車両は、前方不注意、その他(歩行者妨害が含まれる)が各々8人(42.1%)
- ・ 正面衝突は、前方不注意が6人(40.0%)、操作不適が5人(33.3%)



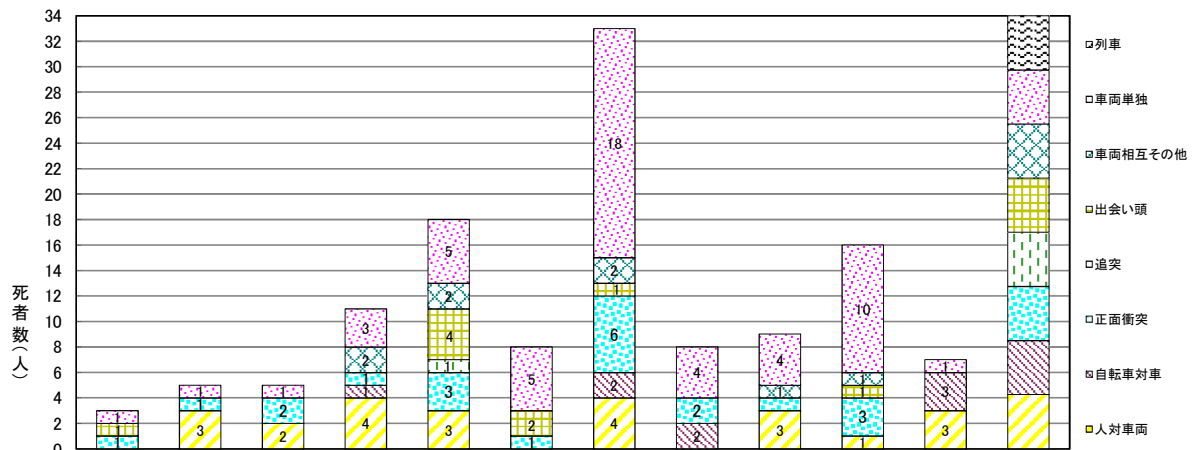
区分\類型別	人対車両	自転車 対 車	車 両 相 互				車両单独	列 車	計
			正面衝突	追 突	出会い頭	その他			
死 者 数	19	6	15	1	8	6	35		90
構 成 率 (%)	21.1	6.7	16.7	1.1	8.9	6.7	38.9		100.0
過去5年構成率	26.6	5.7	20.0	2.5	8.9	3.4	32.5	0.5	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別(第一当事者原付以上):

高齢運転者が33人(36.7%)、50歳代の運転者が18人(20.0%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が18人(54.5%)、正面衝突が6人(18.2%)
- ・ 50歳代の運転者は、車両単独が5人(27.8%)、正面衝突が4人(22.2%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	3	5	5	11	18	8	33	8	9	16	7	90
構成率(%)	3.3	5.6	5.6	12.2	20.0	8.9	36.7	8.9	10.0	17.8	7.8	100.0
過去5年構成率	10.0	3.4	7.3	16.4	14.3	9.5	34.3	11.6	8.6	14.1	4.8	100.0

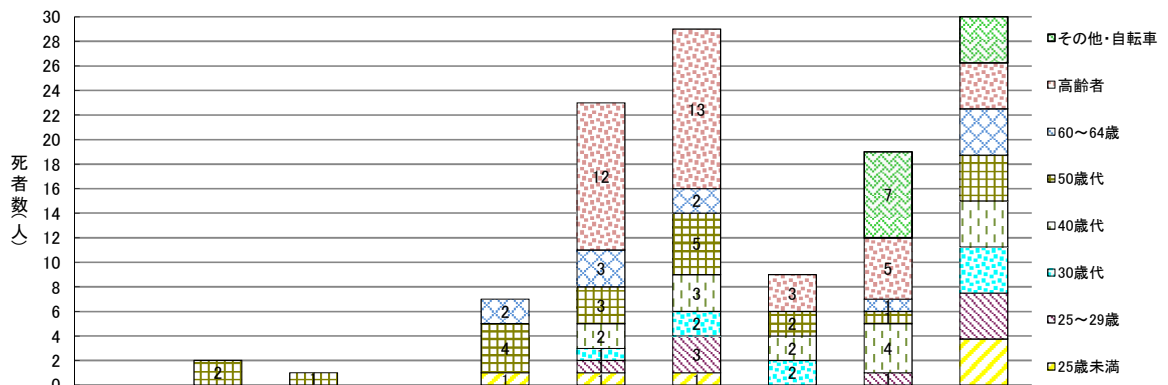
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反

前方不注意によるものが29人(32.2%)、次いで操作不適によるものが23人(25.6%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者による死者が13人(44.8%)、50歳代運転者による死者が5人(17.2%)
- ・ 操作不適は、高齢運転者による死者が12人(52.2%)、50歳代、60～64歳運転者による死者が各々3人(13.0%)

凡例



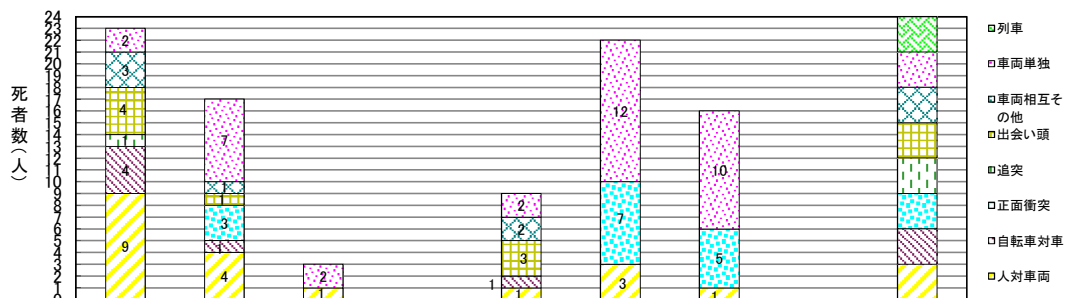
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死 者 数		2	1		7	23	29	9	19	90
構 成 率 (%)		2.2	1.1		7.8	25.6	32.2	10.0	21.1	100.0
過去5年構成率	1.8	13.6	2.3	4.3	4.5	9.3	32.7	11.8	19.5	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が23人(25.6%)、非市街地直線が22人(24.4%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が9人(39.1%)、自転車対車、出会い頭が各々4人(17.4%)
- ・ 非市街地直線は、車両単独が12人(54.5%)、正面衝突が7人(31.8%)

凡例



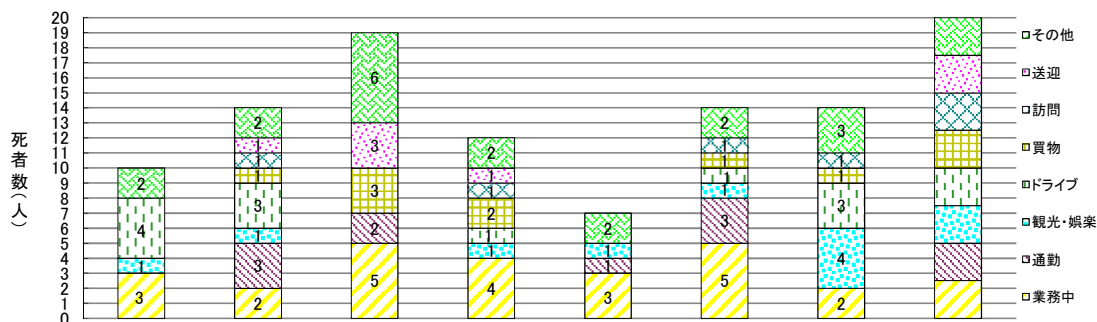
地形道路形状別	市街地	非市街地	計
死者数	23	22	45
構成率(%)	25.6	24.4	50.0
過去5年構成率	29.8	22.7	52.5

(7) 曜日別

火曜日が19人(21.1%)、月曜日、金曜日、土曜日が各々14人(15.6%)となっている。

- ・火曜日は、業務中が5人(26.3%)、買物、送迎が各々3人(15.8%)
- ・月曜日は、通勤、ドライブが各々3人(21.4%)
- ・金曜日は、業務中が5人(35.7%)、通勤が3人(21.4%)
- ・土曜日は、観光・娯楽が4人(28.6%)、ドライブが3人(21.4%)

凡例



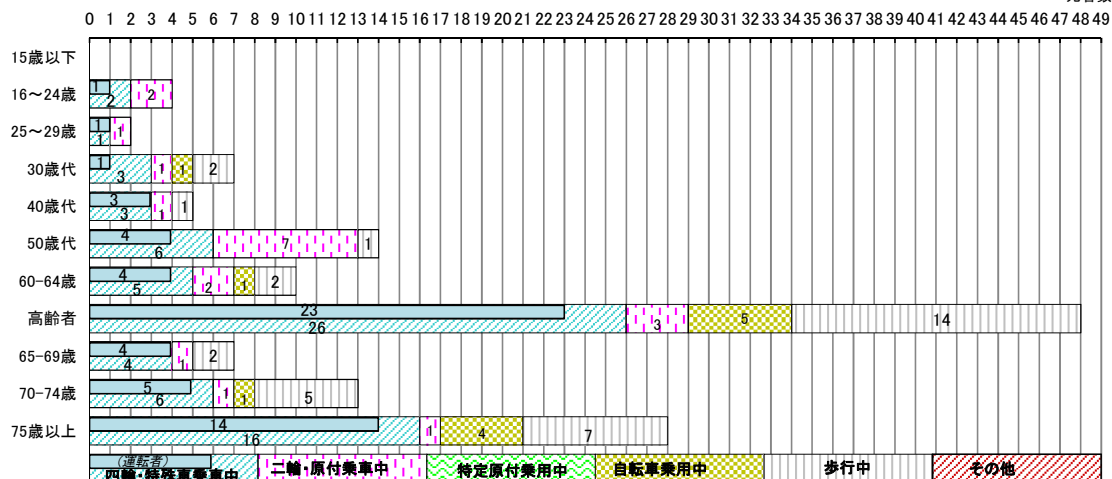
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	10	14	19	12	7	14	14	90
構成率(%)	11.1	15.6	21.1	13.3	7.8	15.6	15.6	100.0
過去5年構成率	19.5	13.0	14.8	11.4	13.4	13.0	15.0	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者数が48人(53.3%)、次いで50歳代の死者が14人(15.6%)となっている。

四輪乗車中の死者数が46人(51.1%)、次いで歩行中の死者数が20人(22.2%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別\	四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下 死者数									2.5
16~24歳 死者数	2	2					4	4.4	7.3
25~29歳 死者数	1	1					2	2.2	2.7
30歳代 死者数	3	1		1	2		7	7.8	6.1
40歳代 死者数	3	1			1		5	5.6	9.8
50歳代 死者数	6	7			1		14	15.6	12.7
60~64歳 死者数	5	2		1	2		10	11.1	7.3
高齢者 死者数	26	3		5	14		48	53.3	51.6
65~69歳 死者数	4	1			2		7	7.8	10.9
70~74歳 死者数	6	1		1	5		13	14.4	10.5
75歳以上 死者数	16	1		4	7		28	31.1	30.2
計 死者数	46	17		7	20		90	100.0	
計 構成率	51.1	18.9		7.8	22.2		100.0	—	—
計 過去5年構成率	49.1	16.1		7.3	27.0	0.5	100.0	—	—

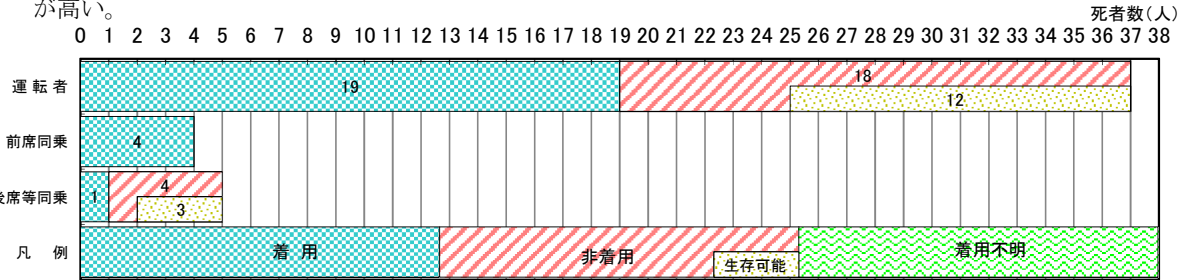
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者46人中、シートベルト非着用者は22人(47.8%)となっている。

非着用者の22人のうち15人(68.2%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪 乗車中 等	着 用				非 着 用					着 用 不 明
		計	運 転 者	同 乗 者		計	運 転 者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	同乗者(後部席) 生存可		
				助手席	後部席						
令和7年	46	24	19	4	1	22	18	12		4	3
構成率(%)	100.0	52.2	79.2	16.7	4.2	47.8	81.8	66.7		18.2	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が15人(68.2%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
シート着用		1	2	2	5	3	11	2	4	5		24
構成率(%)		4.2	8.3	8.3	20.8	12.5	45.8	8.3	16.7	20.8		100.0
シート非着用	2		1	1	1	2	15	2	2	11		22
構成率(%)	9.1		4.5	4.5	4.5	9.1	68.2	9.1	9.1	50.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者22人の損傷加害部位をみるとハンドル、ドア・窓が各々5人(22.7%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
シート着用			4	2	1	2			4	2	7	2	24
構成率(%)			16.7	8.3	4.2	8.3			16.7	8.3	29.2	8.3	100.0
シート非着用	2	1	5	1		5		1	2	2		3	22
構成率(%)	9.1	4.5	22.7	4.5		22.7		4.5	9.1	9.1		13.6	100.0
運転者	2	1	5	1		3		1	2			3	18
構成率(%)	9.1	4.5	22.7	4.5		13.6		4.5	9.1			13.6	81.8
同乗者						2				2			4
構成率(%)						9.1			9.1				18.2

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用
の合計数に対する割合。